



子どもたちに、 本との喜びを。

本との触れ合い

子どもの頃見た絵本を、あなたは覚えていますか。絵本の読み聞かせは、単に子どもを楽しませるだけでなく、様々なメリットをもたらしてくれます。例えば、絵本を介して文章を自然と理解していくようになったり、絵本のストーリーからさまざまなイメージを作るようになり、想像力や発想力の向上にも役立ったりします。



質の高い読み聞かせ

この読み聞かせを行っているスタッフの中には、図書館の職員だけではなく、ボランティアで参加している方もいます。また、スタッフ全員が、図書館で毎月行っている読み聞かせの勉強会、「えほんのはこ」に参加しています。

絵本の中は、縦書きか横書きかによって、ページをめくる方向が違っていたり、長く大きい本もあったりするため、子どもたちが一番見やすくなるように、持ち方やページのめくり方を工

参加
無料

絵本の読み聞かせ会

四万十町立図書館・本館

おはなしの森
毎週土曜日 午後1時30分～2時
第1日曜日 午前10時～10時30分

お問い合わせ ☎22-5000

四万十町立図書館・大正分館

おはなし だいすき
毎週土曜日 午前11時～11時30分

お問い合わせ ☎27-1193
(大正地域振興局3階)



夫しています。また、読む速さやページをめくるタイミング、絵本を見せる角度など、見る子どもたちがより絵本の世界に入り込んで楽しむことができるよう、たくさんの細かな工夫がされています。

さらに、読み聞かせの前には、子どもたちとの距離を縮めるためにスタッフが手遊びを披露し、参加者と一緒になつて楽しんでいきます。本との触れ合いは、子どもたちに大きな喜びを与えてくれます。



読み聞かせの前に、毎月違った手遊びを取り入れ、子どもたちとコミュニケーションをとりながら読み聞かせを行っています。

親子の触れ合い

四万十町立図書館には、親子で訪れる方も多くいます。本館と大正分館ではそれぞれ毎週土曜日（本館では第一日曜日も開催）に絵本の読み聞かせ会を行っています。そこでは、落ち着いた空間の中で、親子で一緒に絵本を楽しんだり、絵本を介して親子で触れ合う時間を過ごすことができます。

は じ め
て 見 る

絵 本 の
せ か い



7か月児健診のときに行っているブックスタートの様子。はじめての絵本との出会いに、赤ちゃんもご機嫌の様子です。

コトバが育ち、 ココロ豊かに、 大きなヨロコビ。

生

後6か月ぐらいから、赤ちゃんは言葉に興味を持ち始めます。この時期に、絵本の世界や大切な言葉の数々と出会うことができるよう、四万十町では、7か月児健診の際に、対象者全員に絵本の読み聞かせをする「ブックスタート」を行っています。目の前で繰り広げられる絵本の世界に、赤ちゃんも興味深々の様子です。絵本は、ブックスタートのバックと一緒に全員にプレゼントしています。

また、3歳を迎えられた児童と保護者の方を対象に、セカンドブックとして絵本のプレゼントと読み聞かせ（読み聞かせは第二土曜日を除く毎週土曜日の午後二時から）を行っています。普段は図書館を利用されない方も、ぜひお子さんと一緒に、図書館へ足を運んでみてください。

